

北海道苫小牧市の死亡野鳥で高病原性 鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)検出

○詳細

- ・ 発見場所：北海道苫小牧市
- ・ 回収日：10月15日
- ・ 野鳥種類：オオタカ1羽(死亡)
- ・ 経緯：回収同日の10月15日に簡易検査を実施(陰性)、その後の遺伝子検査にてH5亜型陽性を確認



農林水産省HP



環境省HP

詳細はこちらからご確認ください

本事例は、今シーズン1例目の、野鳥における
高病原性鳥インフルエンザ発生事例となります。

飼養衛生管理基準を遵守し発生予防に努めましょう！

- ①異常の早期発見・早期通報を！
- ②鶏舎の壁・防鳥ネット破損の確認と破損時の修繕
- ③人・車両の出入りを厳重に管理
- ④衛生管理区域、鶏舎周囲の石灰散布
- ⑤衛生管理区域・鶏舎出入り時の更衣と消毒徹底

家畜に異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

飛騨家畜保健衛生所

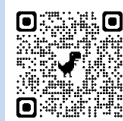
〒506-8688 高山市上岡本町7-468 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL:0577-33-1111(内線403)

FAX:0577-32-9019

※閉庁時には「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の

案内メッセージに従って対応をお願いします。



飛騨家畜
保健衛生
情報は
こちら